

自己評価表

平成 29 年度

ちびっこはうす保育園

こどもの活動や状態に対する評価と、保育士自身の保育や援助、環境設定等に対する評価を総合的に判断して、年間の評価を行う。

No	項 目	評価		備 考
		前期	後期	
1	園の保育理念、基本方針の理解はされていたか。	◎	◎	
2	こどもを主体とした保育がなされたか。	◎	◎	
3	発達過程に沿った、また発達段階に必要な経験をさせられたか。	○	◎	
4	こどもの心の育ちや意欲、取り組む過程への配慮は適切だったか。	○	◎	保育所保育指針の改定に伴い、引き続き丁寧な保育が出来るよう、一人一人に対応していく。
5	こどもの状況に応じて柔軟な保育ができたか。	◎	◎	
6	設定したねらいが達成できたか。	○	○	
7	環境構成は適切だったか。	○	○	
8	援助方法、援助技術は適切だったか。	○	◎	
9	前月の反省、評価は生かされていたか。	○	◎	
10	保育者間で必要な連携はとれていたか。	◎	◎	
11	保護者との連携は十分に取れていたか。	○	◎	
12	必要な記録を残すことができたか。	◎	◎	
13	保健計画に基づき、養護的な配慮がなされていたか。	○	◎	
14	適切な業務実施と効率化はされていたか。	△	○	保育士自身も効率化を自覚するよう促していく。
15	自分の役割に、自覚・責任ある判断・積極的な取組ができたか。	○	◎	
16	ワークライフバランスはとれていたか。(健康維持・心のゆとり)	○	◎	
17	職場の良好な人間関係の為の取組がなされたか。	◎	◎	
18	研修の計画及び積極的参加はなされたか。	○	○	研修内容及び、日程調整を早めにしていく
19	実習生の育成（ボランティアの対応）への積極的取組ができたか。	△	○	
20	子育て支援に配慮した事業実施がなされたか。	○	○	

〈年 間 評 価〉

新たに、専門リーダー、分野別リーダーの役職が出来、試行錯誤の1年だった。

話し合いの内容等、効率的かつ有意義に出来る様にすること、職員全員に共有することなど、今後の課題となった。

充分達成できた	◎
達成できた	○
あまり達成できなかった	△